

東部地域スポーツ施設 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和6年10月7日(月) 13:30~17:20
- 2 場 所 ミクニワールドスタジアム北九州 会議室5
- 3 出席者 (検討会構成員) 植田構成員、内田構成員、河邊構成員、
則松構成員、南構成員
- (事務局) 都市ブランド創造局 スポーツ振興課
施設管理係長、担当職員

4 会議内容

- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
- 構成員の互選により、座長を選出

- 応募団体(北九州スポーツネットワーク共同事業体)より提案概要に関してプレゼンテーション及び質疑応答
 - (構成員) 現指定管理者として施設を管理する中で、女性が利用しやすい工夫をしていることがあるか。
 - (応募団体) まずは、安全な施設にしていくため、定期的に全施設をモニタリングし、施設の老朽化等の問題がないか確認を徹底している。
 - (構成員) 大きい体育館や総合公園ではなく地域に密着した施設では、管理者がサービスを一方的に提供し続けると地域の主体性が失われる懸念があるが、地域の主体性を失わない工夫をしているか。
 - (応募団体) 事業者側が望む活動をするのではなく、利用者の要望に沿うような運用を行っている。例えば、UBUNTU FS プロモーションを構成員に加えることで、ボルクバレット北九州に対する利用者の関心を高められ、試合を見たことがない人が試合を見るきっかけになる。見る人が増えると、する人が増えるといった展開を考え、利用者のやりたいことを探していくような進め方をしていきたいと考えている。
 - (構成員) 北九州市内で他に魅力的に感じているスポーツ施設グループはあるか。また、東部地域スポーツ施設に手を挙げた理由はあるか。
 - (応募団体) 東部地域スポーツ施設以外では、総合体育館を含む西部地域スポーツ施設や、浅生スポーツセンターを検討したが、多角的に判断し、東部地域スポーツ施設のみ申請した。
 - (構成員) UBUNTU FS プロモーションが構成団体に入る意義について、イベントや教室等で関わる以外に大きな変化が見込めるか。
 - (応募団体) プロスポーツチームが構成団体に入ると、受け身の体制で行っ

ていたイベントや教室について、指定管理者として主体性を持って行うようになる。それにより、お互い様々な提案ができる関係性になると考えている。

(構成員) 提案にある広報手段の中で、チラシを配る頻度と枚数はどれくらいを想定しているか。

(応募団体) チラシについては、現在、近隣の小学校や幼稚園に配っており、今後も継続していく予定である。広報については、現状として行き届いていないところがあると認識している。また、来たことがない市民の方に情報を届ける手段としては、今後、Instagramに精通する業者に委託し取り組んでいく。

(構成員) ホームページに、随時、事業を更新させることは可能か。

(応募団体) ホームページがある施設とない施設があるため、全ての施設は難しい。しかし、SNSを頻繁に活用し、現状よりも事業等を露出する体制にしていきたい。

(構成員) 予算管理とコスト削減及び収益を向上させる取り組みについて教えてほしい。

(応募団体) 予算が適正に執行されているかに関しては、本社で常日頃から確認し、予算を執行する際は決裁をとって、適正かどうか判断している。収益の向上については、利用者満足度や利用者数を増やす取り組みを一つ一つ愚直に続けていく。接客接遇の研修、快適性の向上等を継続して行うと共に、プロスポーツチームを構成団体に入れることや、備品の更新を行うといった新しい取り組みも併せて行っていきたい。

(構成員) 小倉北体育館でボルクバレット北九州の選手を雇用するとあるが、選手の流動性が高い中、業務を円滑に行えるのか。

(応募団体) ボルクバレット北九州の雇用について、常駐での配置は計画しておらず、イベントや教室等の対応を想定している。選手の勤務時間については、シーズン中の公式戦等を考慮しながら調整する予定である。

(構成員) 施設の管理運営にとどまらず、2か月に1回の指定管理者会議でリーダーシップをとるとのことだが、具体的な取り組みについて教えてほしい。

(応募団体) 全国100か所以上の管理実績があるため、各施設で起きた問題の解決策を北九州市の指定管理者が集う会議で各管理者に共有していく。

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。
- 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえ

で、検討会としての評価レベルを決定

- 審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定
- 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議
 - （構成員） 全体的によくできた提案だと思う。期待を込めて、もう少し地域のマーケティングに努めていただきたい。
 - （構成員） 安定してしっかりやるという印象で、任せても大丈夫だと感じている。しかし、UBUNTU FS プロモーションが構成員に入るメリットが明確でないことと、広報が弱いと感じた。
 - （構成員） 全体的に具体的かつ現実性が高いと考えられる提案で、社会貢献の視点も盛り込まれており、実績も踏まえ指定管理者として問題ない。
 - （構成員） 施設管理は人材が非常に重要な部分を占めるため、カスタマーハラスメント等の問題を各管理者と共有している点で、働く方々の労働環境の向上にもつながるため管理者として問題ない。
 - （構成員） 財政的にもかなり安定している。UBUNTU FS プロモーションが構成団体として入ることによる取り組みに期待している。
- 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。